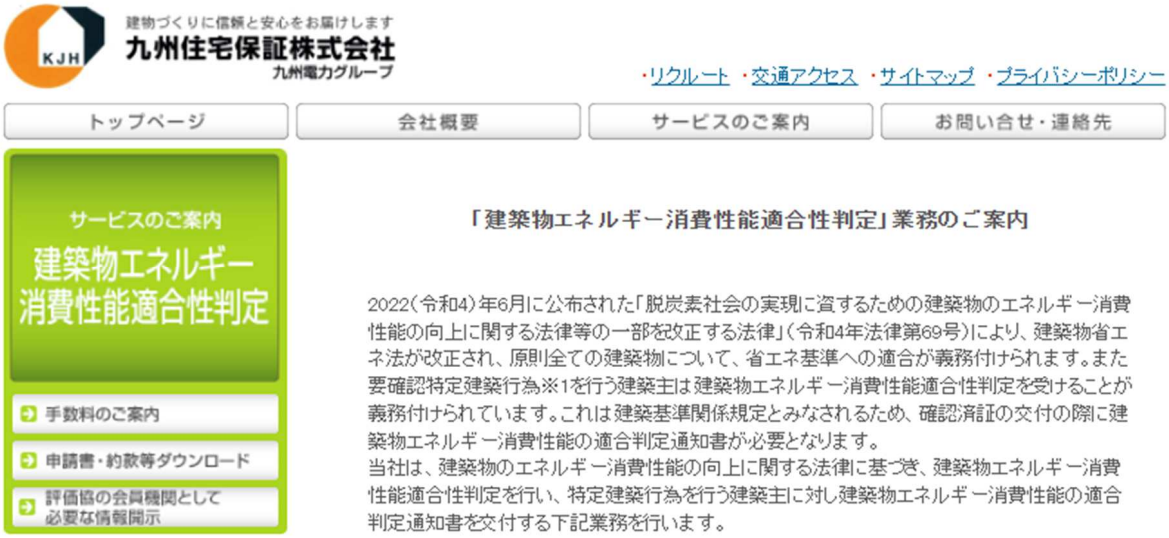
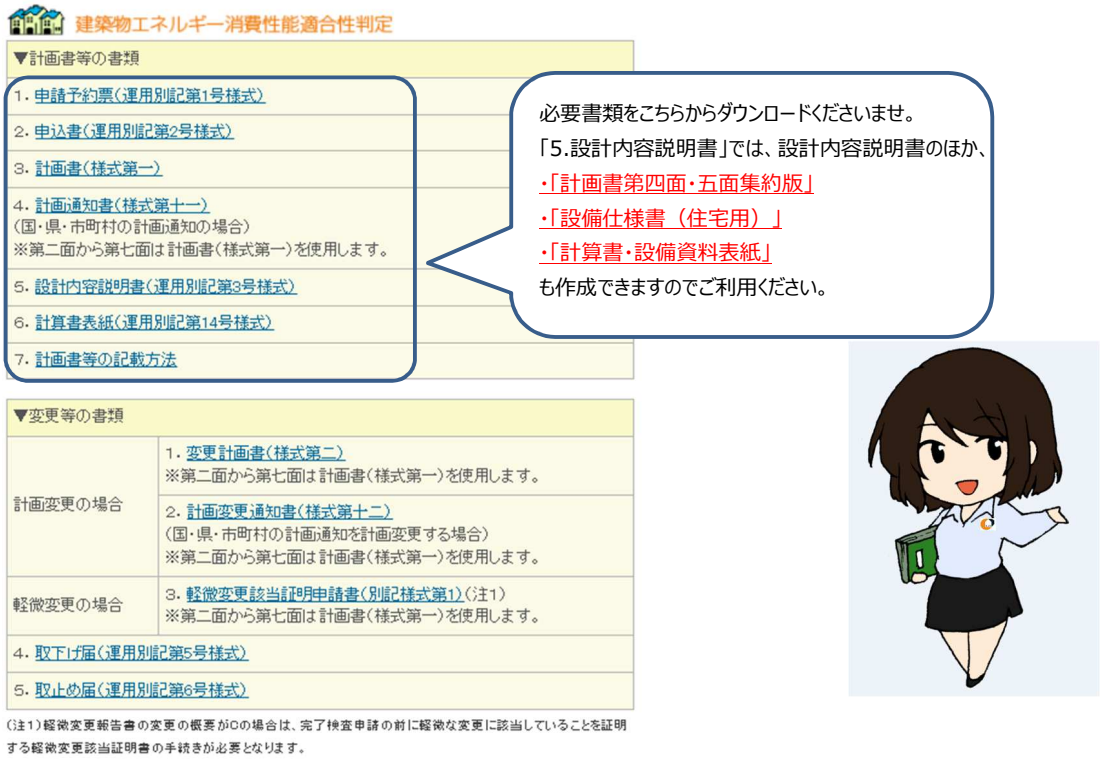
九州住宅保証株式会社

（省エネ適合性判定）

【計画書等の記名・押印の記載方法】

九州住宅保証のホームページ　建築物エネルギー消費性能適合性判定のページ
http://www.kjhc.co.jp/shoenetekihan.html





■申込書の記載方法

九州住宅保証のホームページ　掲載ページ
https://www.kjhc.co.jp/download.html#shoenetekihan

建築物エネルギー消費性能適合性判定

▼計画書等の書類

1. 申請予約票(運用別記第1号様式)
2. 申込書(運用別記第2号様式)
3. 計画書(様式第一)
4. 計画通知書(様式第十一)
(国・県・市町村の計画通知の場合)
※第二面から第七面は計画書(様式第一)を使用します。
5. 設計内容説明書(運用別記第3号様式)
6. 計算書表紙(運用別記第14号様式)
7. 計画書等の記載方法

・「各種ダウンロード」画面中段に掲載しています。建築物エネルギー消費性能適合性判定の欄、「2.申込書」Excelシートよりご利用ください。
・2枚目の「省エネ適判申請図書チェックリスト」も合わせてご申請ください。

KJH省適判-運用別記第2号様式

省エネ適合性判定　申込書

申込日：　年　月　日
(太枠内についてご記入下さい)

＊省エネ適合性判定について下記物件の申し込みを依頼いたします。

省エネ適判 申請の区分	■ 判定申請　□ 計画通知　□ 計画変更判定申請　□ 計画変更通知 □ 軽微変更該当証明申請			
確認申請提出機関	■ 九州住宅保証　□ その他機関（　機関名　）			
確認申請の状況	□ 申請前　■ 事前申請中　□ 本申請中　※省適受付時の状況を記載願います。			
物件名称				
申請者(建築主)				
申込担当者 (代理者・設計者)	会社名		フリガナ	
	所属・役職		氏名	
	住所	〒	TEL	
			FAX	
	E-mail			
指摘事項対応者 □ 申込担当者と同じ (※上記以外は右欄に記入)	会社名		フリガナ	
	所属・役職		氏名	
	住所	〒	TEL	
			FAX	
※指摘事項の送付先を記入→	E-mail			
引受承諾書・請求書 送り先 □ 申込担当者に同じ (※上記以外は右欄に記入)	会社名		フリガナ	
	所属・役職		氏名	
	住所	〒	TEL	
請求書の宛名(注※1)	□ 申請者と別の場合		→左欄に宛名の記載がない場合は、請求書の宛名は申請者の会社名となります。	
通知書等の受取(注※2)	■ 窓口にて受取　□ 下記郵送希望先へ郵送		→KJH確認申請の場合は、確認申請図書と合わせて返却します。	
＊通知書等の郵送希望先	□ 申込担当者宛　□ 引受承諾書送付先　□ 左記以外(下欄の送付先)			
	会社名		フリガナ	
	住所		氏名	様
			TEL	

注※1 請求書の再発行につきましては、手戻りが発生しますので「請求書の宛名」の記載内容にお間違えのないようご注意ください。
注※2 適合判定通知書等の交付にあたり、手数料のお振込み状況を確認させて頂きますので、ご留意願います。

◆ KJH記入欄

新築・増改築	非住宅用途			住宅用途			手数料(税込)	年　月　日
	非住宅用途	計算方法	計算対象床面積	標準計算対象住戸数	仕様規定対象住戸数	共用部計算の有無		
	A / B / C		㎡				円	受付番号
	A / B / C		㎡				円	
	A / B / C		㎡				円	手数料合計(税込)
	A / B / C		㎡				円	
	A / B / C		㎡				円	円

※ 見積りの省エネ適合性判定手数料はご依頼された情報により算定しております。正式受付時において変更になる場合もございます。ご不明な点はお問い合わせ下さい。

備考（委託手数料）

黄色ハッチ部分をご確認ください

質疑回答票はメールで送付します。

請求書の宛名をご確認ください。

これより下段はKJH入力欄です。

KJH省適判-運用別記第2号様式

省エネ適判申請スケジュールについて

○九州住宅保証担当者と事前に申請スケジュールについて調整を行うこと

省エネ適判申請図書チェックリスト

○申込書、計画書、省エネ計算書以外の添付図書は作成した建築士の責任を明確化するため、記名を行うこと

下記の順番で計画書を作成

○申込書
○委任状
○計画書　（第一面～第五面）

（建築物の構造等に関する図書）（　　）は明示すべき事項

○設計内容説明書
（建築物のエネルギー消費性能が建築物省エネ法第11項に掲げる基準に適合するものであることの説明）
○各種計算書等（計算書表紙を添付：九州住宅保証DLページ）
（建築物のエネルギー消費性能に係る計算その他の計算を要する場合における当該計算の内容）
○付近見取図
（方位、道路及び目標となる地物）
○配置図
（縮尺、方位）
（敷地境界線、敷地内における建物の位置及び申請に係る建築物と他の建築物との別）
（空気調和設備等及び空気調和設備等以外のエネルギー消費性能確保設備の位置）
○仕様書（仕上げ表を含む。）
（部材の種類及び寸法）
（エネルギー消費性能確保設備の種別及び内容）
○各階平面図
（縮尺、方位）
（間取り、各室の名称、用途及び寸法並びに天井の高さ）
（壁の位置及び種類）
（開口部の位置及び構造）
（エネルギー消費性能確保設備の位置）
○床面積求積図、敷地求積図
（床面積の求積に必要な建築物の各部分の寸法及び算式）
○用途別床面積表
（用途別の床面積）
○立面図
（縮尺、外壁及び開口部の位置）
（エネルギー消費性能確保設備の位置）
○断面図又は矩計図
（縮尺、建築物の高さ）
（外壁及び屋根の構造）
（軒の高さ並びに軒及びひさしの出）
（小屋裏の構造）
（各階の天井の高さ及び構造）
（床の高さ及び構造並びに床下及び基礎の構造）
○各部詳細図
（縮尺）
（外壁、開口部、床、屋根その他断熱性を有する部分の材料の種別及び寸法）
○建具配置図、建具表
（建具配置、建具仕様・寸法）

（建築物のエネルギー消費性能に関する図書）（　　）は明示すべき事項

○機器表
・空気調和設備
（熱源機、ポンプ、空気調和機その他の機器の種別、仕様及び数）
・空気調和設備以外の機械換気設備
（給気機、排気機その他これらに類する設備の種別、仕様及び数）
・照明設備
（照明設備の種別、仕様及び数）
・給湯設備
（給湯器の種別、仕様及び数）
（太陽熱を給湯に利用するための設備の種別、仕様及び数）
（節湯器具の種別及び数）
・空気調和設備等以外のエネルギー消費性能の確保に資する建築設備
（空気調和設備等以外のエネルギー消費性能の確保に資する建築設備の種別、仕様及び数）
○仕様書
・昇降機
（昇降機の種別、数、積載量、定格速度及び速度制御方法）
○系統図
・空気調和設備
（空気調和設備の位置及び連結先）
・空気調和設備以外の機械換気設備
（空気調和設備以外の機械換気設備の位置及び連結先）
・給湯設備
（給湯設備の位置及び連結先）
・空気調和設備等以外のエネルギー消費性能の確保に資する設備
（空気調和設備等以外のエネルギー消費性能の確保に資する建築設備の位置及び連結先）
○各階平面図
・空気調和設備
（縮尺、空気調和設備の有効範囲、熱源機、ポンプ、空気調和機その他の機器の位置）
・空気調和設備以外の機械換気設備
（縮尺、給気機、排気機その他これらに類する設備の位置）
・照明設備
（縮尺、照明設備の位置）
・給湯設備
（縮尺、給湯設備の位置）
・昇降機
（縮尺、位置）
・空気調和設備等以外のエネルギー消費性能の確保に資する建築設備
（縮尺、位置）
○制御図
・空気調和設備
（空気調和設備の制御方法）
・空気調和設備以外の機械換気設備
（空気調和設備以外の機械換気設備の制御方法）
・照明設備
（照明設備の制御方法）
・給湯設備
（給湯設備の制御方法）
・空気調和設備等以外のエネルギー消費性能の確保に資する建築設備
（空気調和設備等以外のエネルギー消費性能の確保に資する建築設備の制御方法）

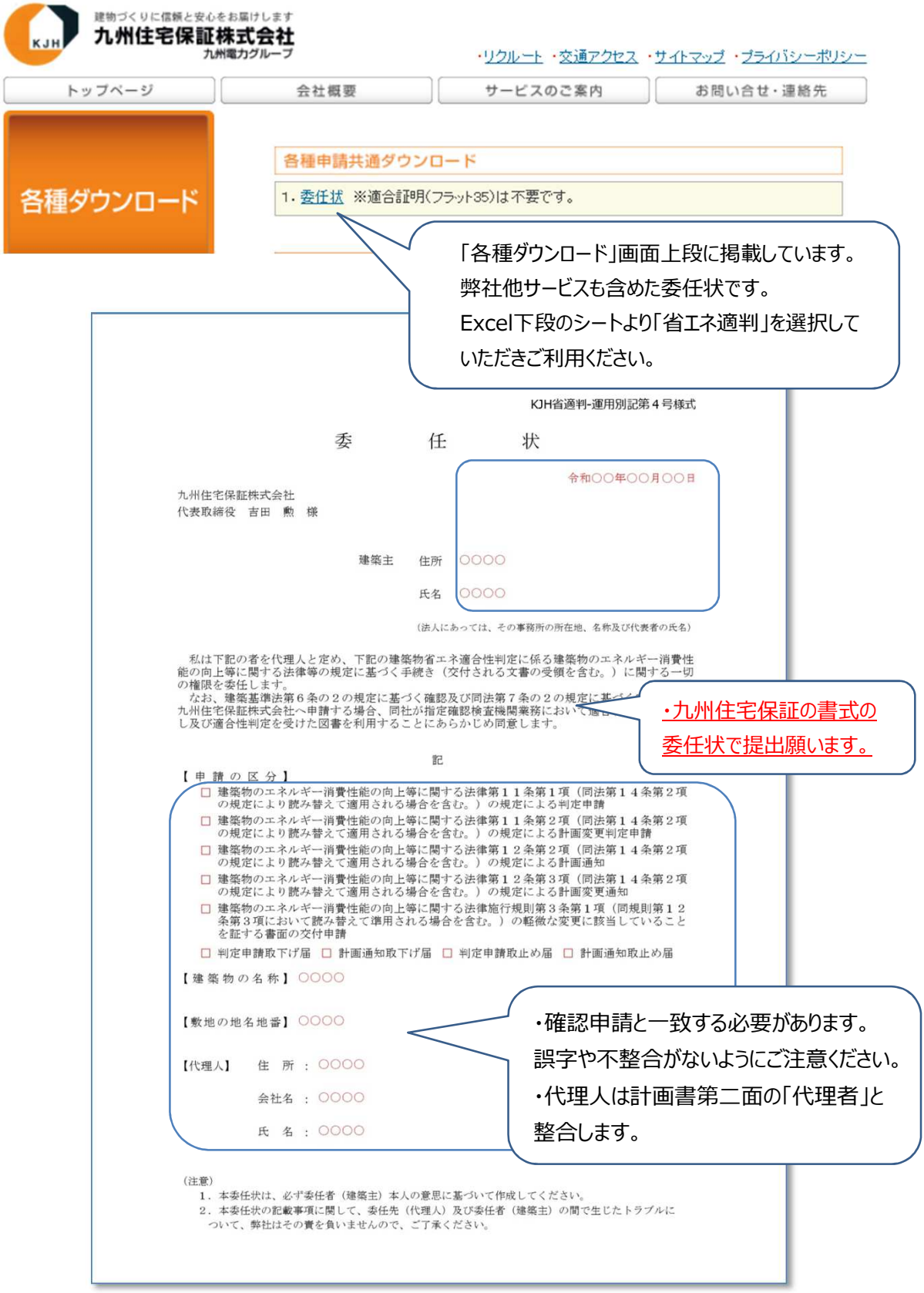
・「空気調和設備等以外のエネルギー消費性能の確保に資する建築設備」とは、空気調和設備等以外の建築設備で、エネルギー消費性能の確保に資する建築設備をいい、基準省令第2条に規定する「エネルギー利用効率化設備」と同義である。
（例：太陽光発電設備、コージェネレーション設備）

・「エネルギー消費性能確保設備」とは、空気調和設備等（空気調和設備、換気設備、照明設備、給湯設備及び昇降機をいう。）及び上記、空気調和設備等以外のエネルギー消費性能の確保に資する建築設備をいう。

こちらの用紙も申込書と合わせてご提出ください。

■委任状の記載方法

九州住宅保証のホームページ　委任状掲載ページ
https://www.kjhc.co.jp/download.html#shoenetekihan



■設計内容説明書（住宅）の記載方法

九州住宅保証のホームページ　掲載ページ
https://www.kjhc.co.jp/download.html#shoenetekihan

建築物エネルギー消費性能適合性判定

▼計画書等の書類

1. 申請予約票（運用別記第1号様式）
2. 申込書（運用別記第2号様式）
3. 計画書（様式第一）
4. 計画通知書（様式第十一）
（国・県・市町村の計画通知の場合）
※第二面から第七面は計画書（様式第一）を使用します。
5. 設計内容説明書（運用別記第3号様式）
6. 計算書表紙（運用別記第14号様式）
7. 計画書等の記載方法

「各種ダウンロード」画面中段に掲載しています。建築物エネルギー消費性能適合性判定の欄、「5.設計内容説明書」Excelシート下段より「設計内容説明書（住宅）」を選択していただきご利用ください。

設計内容説明書　住宅

建築物の名称	○○○○
建築物の所在地	○○○○
設計者等の氏名	○○○○

・黄色・青色ハッチ部を入力してください。

【設計内容】

確認事項	確認事項	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	記載図書	設計内容確認欄
建築物の概要	建築物に関する事項	建築物の用途	■ 一戸建ての住宅　□ 共同住宅等、複合建築物の住戸 □（別表に記載）	□ 出力シート □ 概要書 ■ 面積表	□ 適
		該当する地域の区分	・ 建設地の地域の区分（ 6 ）地域		
		建築物の階段	・ 地上（ ○(）階、 地下（ ○) ）階		
		延べ面積	・ 延べ床面積（ ○○ ）㎡ ・ 判定対象計算部分の床面積（ 0.00 ）㎡		

住戸番号　すべて

・共同住宅等の場合、住戸番号（部屋番号）を入力してください。※すべて同じ場合は「すべて」と入力。

【 外皮に関する事項】

建物等の概要	計算条件	適用する計算方法	■ 標準計算　□ 仕様基準　□ 誘導仕様基準 □ その他		□ 適
躯体の外皮性能等	性能基準等	外皮平均熱貫流率	外皮平均熱貫流率(UA) 設計値（エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による） 基準値（ 0.87 ）【 W/㎡k 】	■ 計算書 □ 仕様書 □ 平面図 □ 立面図 □ 建具表	□ 適
		外皮平均日射熱取得率	冷房期の平均日射熱取得率の計算値(nAC) 設計値（エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による） 基準値（ 2.8 ）		□ 適
	仕様基準	基準の選択	□ 仕様基準　□ 誘導仕様基準	□ 仕様書 □ 平面図 □ 立面図 □ 建具表	□ 適

【 一次エネルギー消費量に関する事項 】

建物等の概要	計算条件	適用する計算方法	■ 標準計算　□ 仕様基準　□ 誘導仕様基準 □ その他		□ 適
基本事項		計算対象床面積	■ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による	□ 平面図 ■ 求積図	□ 適
一次エネルギー消費量		計算結果等	■ 性能基準に適合 ■ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ 仕様基準（住宅部分） □ 誘導仕様基準（住宅部分）	■ 計算書 ■ 仕様書	□ 適
設備の概要	設備機器の係る概要	暖房方式	■ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ 仕様基準・誘導仕様基準に適合	□ 仕上表 □ 建具表 □ 矩計図 □ 平面図 □ 機器表 □ 系統図 ■ 仕様書	□ 適
		冷房方式	■ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ 仕様基準・誘導仕様基準に適合		
		換気設備方式	■ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ 仕様基準・誘導仕様基準に適合		
		給湯設備	■ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ 仕様基準・誘導仕様基準に適合		
		照明設備	■ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による □ 仕様基準・誘導仕様基準に適合		
		太陽光発電の使用について	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		
		コージェネレーションの使用について	□ エネルギー消費性能計算プログラムの出力票による		

■設計内容説明書（非住宅）の記載方法

九州住宅保証のホームページ　掲載ページ
https://www.kjhc.co.jp/download.html#shoenetekihan

建築物エネルギー消費性能適合性判定

▼計画書等の書類

1. 申請予約票（運用別記第1号様式）
2. 申込書（運用別記第2号様式）
3. 計画書（様式第一）
4. 計画通知書（様式第十一）
（国・県・市町村の計画通知の場合）
※第二面から第七面は計画書（様式第一）を使用します。
5. 設計内容説明書（運用別記第3号様式）
6. 計算書表紙（運用別記第14号様式）
7. 計画書等の記載方法

「各種ダウンロード」画面中段に掲載しています。建築物エネルギー消費性能適合性判定の欄、「5.設計内容説明書」Excelシート下段より「設計内容説明書（非住宅）」を選択していただきご利用ください。

設計内容説明書　非住宅

建築物の名称	○○○○
建築物の所在地	○○○○
設計者等の氏名	○○○○

・黄色・青色ハッチ部を入力してください。

【設計内容】

確認事項	確認事項	設計内容説明欄 項目	設計内容説明欄 設計内容	記載図書	設計内容確認欄
建築物の概要	建築物に関する事項	建築物の用途	■ 非住宅　□ 複合建築物 ・建築物用途 （ (08470)事務所 ） （ (08490)自動車車庫 ） （ ） （ ） （ ） ・住宅用途面積（ ）㎡	■ 出力シート ■ 概要書	□
		該当する地域の区分	・建設地の地域の区分（ 6 ）地域		
		建築物の階数	・地上（ ○○ ）階、地下（ ○○ ）階		
		延べ面積	・延べ床面積（ ○○ ）㎡ ・判定対象計算部分の床面積合計（ ○○ ）㎡		
	計算条件	適用する計算方法	□ 標準入力法　□ 主要室入力法 ■ モデル建物法　□ 国土交通大臣が認める方法		
		申請の対象となる用途（該当するもの全て）	モデル建物法 ■ 事務所モデル □ ビジネスホテルモデル □ シティホテルモデル □ 総合病院モデル □ 福祉施設モデル □ クリニックモデル □ 学校モデル □ 幼稚園モデル □ 大学モデル □ 講堂モデル □ 大規模物販モデル □ 小規模物販モデル □ 飲食店モデル □ 集会所モデル （ ） ■ 工場モデル 標準入力法及び主要室入力法 □ 事務所等 □ ホテル等 □ 病院等 □ 物販店舗等 □ 学校等 □ 飲食店等 □ 集会所等 □ 工場等 □ 共同住宅共用部		
外皮の概要	外壁等の性能	計算手法等	■ 断熱材の種類及び厚みを入力 □ 断熱材の熱伝導率及び厚みを入力 □ 外壁等の熱貫流率を入力	■ 出力シート ■ 仕上表 □ 集計表 □ 成績書	□ 適
	窓の性能	計算手法等	■ 建具の種類及びガラスの種類を入力 □ 建具の種類並びにガラスの熱貫流率及び日射熱取得率を入 □ 窓の熱貫流率及び日射熱取得率を入力	■ 出力シート ■ 仕上表 □ 集計表	□ 適
設備の概要	各設備の仕様等	対象の有無	・計算対象空調設備の有無　■ 有　□ 無 ・計算対象換気設備の有無　■ 有　□ 無 ・計算対象照明設備の有無　■ 有　□ 無 ・計算対象給湯設備の有無　■ 有　□ 無 ・計算対象昇降機の有無　■ 有　□ 無	■ 出力シート ■ 機器表 □ 集計表 ■ 設備図	□ 適
		太陽光発電	・太陽光発電の有無　■ 有　□ 無 有りの場合　■ 全量自家消費　□ 売電有り 年間日射地域区分（ A4 ）区分	■ 出力シート ■ 設備図	□ 適
		コージェネレーション	・コージェネレーション設備の有無　□ 有　■ 無	□ 出力シート	□ 適

・確認申請書第四面の用途を入力してください。

計画書記入例

…記入が必要な箇所を示しています。

別記

様式第一（第三条第一項関係）（日本産業規格Ａ列４番）

（第一面）

計画書

年　月　日

所管行政庁又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関　殿

提出者の住所又は
主たる事務所の所在地
提出者の氏名又は名称
代表者の氏名

設計者氏名

建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第 11 条第 1 項（同法第 14 条第 2 項において読み替えて適用する場合を含む。）の規定により、建築物エネルギー消費性能確保計画を提出します。この計画書及び添付図書に記載の事項は、事実に相違ありません。

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	適合判定通知書番号欄	決裁欄
年　月　日	年　月　日	
第　号	第　号	
係員氏名	係員氏名	

（第二面）

［建築主等に関する事項］

【１．建築主】
【イ．氏名のフリガナ】
【ロ．氏名】
【ハ．郵便番号】
【ニ．住所】
【ホ．電話番号】

【２．代理者】
【イ．氏名】
【ロ．勤務先】
【ハ．郵便番号】
【ニ．住所】
【ホ．電話番号】

【３．設計者】
（代表となる設計者）
【イ．資格】　（　　）建築士　（　　）登録第　　号
【ロ．氏名】
【ハ．建築士事務所名】（　　）建築士事務所（　　）知事登録第　　号
【ニ．郵便番号】
【ホ．所在地】
【ヘ．電話番号】
【ト．作成した設計図書】

【ニ．郵便番号】
【ホ．所在地】
【ヘ．電話番号】
【ト．作成した設計図書】

【４．確認の申請】
□申請済（　　）
□未申請（　　）

【５．備考】

申請済/未申請いずれの場合も、申請先/申請予定先の名称とその所在地を市町村レベルで括弧内に記載してください。
記載例：九州住宅保証株式会社　福岡市

備考欄に物件名の記載をお願いします。

（第三面）

建築物エネルギー消費性能

［建築物に関する事項］

【1．地名地番】

【2．敷地面積】　　㎡

【3．建築面積】　　㎡

【4．延べ面積】　　㎡

【5．建築物の階数】　（地上）　　階

【6．建築物の用途】
□非住宅建築物　□一戸建ての住宅　□共同住宅等　□複合建築物

【7．工事種別】　□新築　□増築　□改築

【8．構造】　　造　一部　　造

【9．該当する地域の区分】　　地域

【10．工事着手予定年月日】　年　月　日

【11．工事完了予定年月日】　年　月　日

【12．備考】

3.建築面積～5.建築物の階数、7.工事種別、8.構造については、対象となる棟の確認申請上の情報を記載してください。
※敷地単位ではありません。

対象建築物の用途に応じて選択してください。住宅と非住宅の用途を含む場合は、複合建築物を選択します。
（店舗等併用住宅は複合建築物です。）

確認申請書第四面の工事種別と整合させてください。

建設地に応じた省エネルギー地域区分を1～8地域より選択してください。

適合性判定の対象となる棟の工事着手予定年月日、工事完了予定年月日を記入してください。

第四面（集約版）
「非住宅建築物」の場合

…記入が必要な箇所を示しています。

第四面集約版

【1. 非住宅部分の用途】

確認申請書第四面に記載の用途と整合し、建築基準法施行規則別紙の表の用途の区分に従い記入してください。

【2. 建築物の住戸の数】　建築物全体　　戸

【3. 建築物の床面積】

		（床面積）	（開放部分を除いた部分の床面積）	を除いた部分の床面積）
【イ. 新築】		（　　㎡）	（　　㎡）	（　　㎡）
【ロ. 増築】	全　体	（　　㎡）	（　　㎡）	（　　㎡）
	増築部分	（　　㎡）	（　　㎡）	（　　㎡）
【ハ. 改築】	全　体	（　　㎡）	（　　㎡）	（　　㎡）
	改築部分	（　　㎡）	（　　㎡）	（　　㎡）

【4. 建築物のエネルギー消費性能】

（建築物の用途）

☐ 非住宅建築物　☐ 一戸建ての住宅　☐ 共同住宅　☐ 複合建築物

（適用した基準）

・非住宅部分

☐ 基準省令第1条第1項第1号イの基準（　標準入力法

☐ 基準省令第1条第1項第1号ロの基準（　☐ モデル建物　　デル建物法（小規模版）　）

☐ 国土交通大臣が認める方法及びその結果

（　　）

☐ 住宅共用部分のみに係る内容のため適用外

・住宅部分

（外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する事項）

☐ 基準省令第1条第1項第2号イ(1)の基準（標準計

☐ 基準省令第1条第1項第2号イ(2)の基準（仕様基

☐ 基準省令第10条第1項第2号イ(2)の基準（誘導仕

☐ 国土交通大臣が認める方法及びその結果

（

☐ 基準省令第1条第1項第2号イただし書の規定に

☐ 住宅共用部分又は共用棟（住宅用途）のみに係る

（一次エネルギー消費量に関する事項）

☐ 基準省令第1条第1項第2号ロ(1)の基準（標準計

☐ 基準省令第1条第1項第2号ロ(2)の基準（仕様基

☐ 基準省令第10条第1項第2号ロ(2)の基準（誘導仕

☐ 国土交通大臣が認める方法及びその結果

（

・住宅共用部分の評価の有無（基準省令第4条第3項に

「開放部分」とは、当該室（部分）の床面積に対し、1/20 以上の常時外気に開放された開口部がある室（部分）を指します。 以下が明らかな場合は、床面積と同じ面積を記載することでも支障ありません。

・開放部分を除いたとしても大規模非住宅の該当の判断に変更がないこと。

・開放部分を除いたとしても 10 ㎡を超えること。

一次エネルギー消費量集計表

非住宅部分のBEI 基準値（　　）	設計一次エネ(その他エネ含む)[GJ／年]	基準一次エネ(その他エネ含む)[GJ／年]	BEI
①住戸部分（戸建）	0.0	0.0	
②住戸部分			
③住宅共用			
④非住宅部			
合計			

※モデル建物法・標準入力法に応じて、入力箇所が変わります

外皮性能集計表

外皮基準値	UA値	（　　）	ηAC値	（　　）
外皮設計値		一戸建ての住宅	共同住宅等・複合建築物	
	UA値	（　　）	（　　）～（　　）	
	ηAC値	（　　）	（　　）～（　　）	

【5. 備考】

・専用部分の床面積の合計　0.00 ㎡

・その他一次エネルギー消費量の合計　0 MJ → 0.0 GJ

非住宅建築物
モデル建物法の場合

・基準となる BEI 及び BEI の設計値を記入します。

・大規模非住宅建築物に該当する場合は、基準となる BEI の記載に注意してください。

一次エネルギー消費量集計表			
非住宅部分のBEI 基準値（　　）	設計一次エネ(その他エネ含む)[GJ／年]	基準一次エネ(その他エネ含む)[GJ／年]	BEI
①住戸部分(戸建)	0.0	0.0	
②住戸部分合計	0.0	0.0	
③住宅共用部	0.0	0.0	
④非住宅部分	0.0	0.0	
合計			

外皮性能集計表			
外皮基準値	UA値	（　　）	ηAC値　（　　）
外皮設計値		一戸建ての住宅	共同住宅等・複合建築物
	UA値	（　　）	（　　）～（　　）
	ηAC値	（　　）	（　　）～（　　）

【5. 備考】

・専用部分の床面積の合計　0.00 ㎡

・その他一次エネルギー消費量の合計　0 MJ → 0.0 GJ

非住宅建築物
標準入力法の場合

・設計・基準とも一次エネルギー消費量は「その他エネルギー」を含む数値を記載します。

・大規模非住宅建築物に該当する場合は、大規模非住宅建築物の基準値を記載してください。

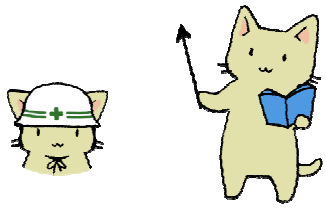
一次エネルギー消費量集計表			
非住宅部分のBEI 基準値（　　）	設計一次エネ(その他エネ含む)[GJ／年]	基準一次エネ(その他エネ含む)[GJ／年]	BEI
①住戸部分(戸建)	0.0	0.0	
②住戸部分合計	0.0	0.0	
③住宅共用部	0.0	0.0	
④非住宅部分	0.0	0.0	
合計			

外皮性能集計表			
外皮基準値	UA値	（　　）	ηAC値　（　　）
外皮設計値		一戸建ての住宅	共同住宅等・複合建築物
	UA値	（　　）	（　　）～（　　）
	ηAC値	（　　）	（　　）～（　　）

【5. 備考】

・専用部分の床面積の合計　0.00 ㎡

・その他一次エネルギー消費量の合計　0 MJ → 0.0 GJ



第四面（集約版）
「共同住宅等」の場合

…記入が必要な箇所を示しています。

「共用部分」とは、住宅の共用部分です。

第四面集約版

【1. 非住宅部分の用途】

【2. 建築物の住戸の数】　建築物全体　　戸

【3. 建築物の床面積】

		（床面積）	（開放部分を除いた部分の床面積）	（開放部分及び共用部分を除いた部分の床面積）
【イ. 新築】		（　　㎡）	（　　㎡）	（　　㎡）
【ロ. 増築】	全　体	（　　㎡）	（　　㎡）	（　　㎡）
	増築部分	（　　㎡）	（　　㎡）	（　　㎡）
【ハ. 改築】	全　体	（　　㎡）	（	
	改築部分	（　　㎡）	（	

「開放部分」とは、当該室（部分）の床面積に対し、1/20 以上 の常時外気に開放された開口部がある室（部分）を指します。
開放部分を除いたとしても 10 ㎡を超えることが明らかな場合は、床面積と同じ面積を記載することでも支障ありません。

【4. 建築物のエネルギー消費性能】
（建築物の用途）
☐ 非住宅建築物　☐ 一戸建ての住宅　☐ 共同

（適用した基準）
・非住宅部分
☐ 基準省令第1条第1項第1号イの基準（　標準入力法

住宅共用部は外皮基準が適用外であるため、
該当する申請の場合にチェックしてください。

・住宅部
（外壁、　の熱の損失の防止に関する事項）
☐ 第1条第1項第2号イ(1)の基準(標準計算
☐ 第1条第1項第2号イ(2)の基準(仕様基準
☐ 令第10条第1項第2号イ(2)の基準(誘導仕様基準
☐ 交通大臣が認める方法及びその結果
（
☐ 準省令第1条第1項第2号イただし書の規定による適用除外(気候風土適応住宅)
☐ 住宅共用部分又は共用棟(住宅用途)のみに係る内容のため適用外

住宅用途の共用部については計算を省略することが可能です。
以下より選択してください。
・第１号（共用部計算あり）
・第２号（共用部計算なし・省略）

（一次エネルギー消費量に関する事項）
☐ 基準省令第1条第1項第2号ロ(1)の基準(標準計算　対象住戸数　0　戸)
☐ 基準省令第1条第1項第2号ロ(2)の基準(仕様基準　対象住戸数　0　戸)
☐ 基準省令第10条第1項第2号ロ(2)の基準(誘導仕様基準　対象住戸数　0　戸)
☐ 国土交通大臣が認める方法及びその結果
（　　）
・住宅共用部分の評価の有無(基準省令第4条第3項に掲げる数値の区分　（第2号(共用部計算なし・省略)）

一次エネルギー消費量集計表

非住宅部分のBEI基準値（　　）	設計一次エネ(その他エネ含む)[GJ／年]	基準一次エネ(その他エネ含む)[GJ／年]	BEI
①住戸部分(戸建)	0.0	0.0	
②住戸部分合計	0.0	0.0	
③住宅共用部	0.0	0.0	
④非住宅部分	0.0	0.0	
合計			

外皮性能集計表

外皮基準値	UA値	（　　）	ηAC値	（　　）
外皮設計値		一戸建ての住宅	共同住宅等・複合建築物	
	UA値	（　　）	（　　）～（　　）	
	ηAC値	（　　）	（　　）～（　　）	

【5. 備考】
・専用部分の床面積の合計　0.00　㎡
・その他一次エネルギー消費量の合計　0　MJ　→　0.0　GJ

・一次エネルギー消費量、BEI、設計一次エネ、基準一次エネは第五面の入力により自動計算されます。
・外皮基準値を入力してください。
・住宅共用部については、「共用部計算あり」を選択した場合には標準入力法の計算書より転記してください。

一次エネルギー消費量集計表			
非住宅部分のBEI基準値(　　)	設計一次エネ(その他エネ含む)[GJ／年]	基準一次エネ(その他エネ含む)[GJ／年]	BEI
①住戸部分(戸建)	0.0	0.0	
②住戸部分合計	0.0	0.0	
③住宅共用部	0.0	0.0	
④非住宅部分	0.0	0.0	
合計			

第五面（集約版）「共同住宅等」の場合

住戸に関する事項(第五面共同住宅等集約版)

NO.	タイプ名	【1.住戸の番号】	【2.住戸の存する階】【階】	【3.専用部分の床面積】【㎡】	【4. 住戸のエネルギー消費性能】							
					(外壁、窓等通しての熱の損失の防止に関する事項)			(一次エネルギー消費量に関する事項)				
					標準計算又は仕様基準	外皮平均熱貫流率 [W/㎡・K]	冷房期の平均日射熱取得率 [-]	標準計算又は仕様基準	設計一次エネルギー消費量(その他含む)	基準一次エネルギー消費量(その他含む)	その他一次エネルギー消費量 [MJ]	BEI
1					計算			計算				
2					計算			計算				
3					計算			計算				
4					計算			計算				
5					計算			計算				
6					計算			計算				

※次の点を踏まえて、住戸ごとに各項目を記載してください。

【専用部分の床面積】
当該住戸の専有部分の床面積を記入してください。
省エネ計算上の面積とは異なる場合があります。

【外皮平均熱貫流率(UA 値)、冷房期の平均日射熱取得率(ηAC 値)】
計算書に表示された値を転記してください。
仕様基準又は誘導仕様基準の場合は空欄としてください。

【設計一次エネルギー、基準一次エネルギー】
計算書に表示された「その他エネルギー」を含む数値を[GJ]で転記してください。

【その他エネ】
計算書に表示された「その他エネルギー」を[MJ]で転記してください。

【BEI】
計算書に表示された値を転記してください。

(外皮：仕様基準)+(一次：標準計算)の場合

一次エネルギー消費量集計表			
非住宅部分のBEI基準値(　　)	設計一次エネ(その他エネ含む)[GJ／年]	基準一次エネ(その他エネ含む)[GJ／年]	BEI
①住戸部分(戸建)	0.0	0.0	
②住戸部分合計	0.0	0.0	
③住宅共用部	0.0	0.0	
④非住宅部分	0.0	0.0	
合計			

外皮性能集計表			
外皮基準値	UA値	(　　)	ηAC値 (　　)
外皮設計値		一戸建ての住宅	共同住宅等・複合建築物
	UA値	(　　)	(　　) ～ (　　)
	ηAC値	(　　)	(　　) ～ (　　)

【5. 備考】

・専用部分の床面積の合　　0.00 ㎡

・その他一次エネルギー　　0 MJ → 0.0 GJ

・設計・基準とも一次エネルギー消費量は「その他エネルギー」を含む数値を計算書から転記してください。BEI は計算書に表示される数値を転記してください。

・外皮が仕様基準・誘導仕様基準の場合、外皮設計値の記載は不要です。外皮基準値を入力してください。

計画書通知記入例

様式第十一（第九条第一項関係）（日本産業規格Ａ列４番）

当社への申請日

（第一面）

建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第 12 条第２項の規定による計画通知書

令和　　年　　月　　日

九州住宅保証株式会社　殿

・行政庁での文書管理番号の発番日について、該当がある場合に記入してください。
※該当がない場合は未記入としてください。
なお、建築基準法における計画通知番号ではありませんので注意してください。

第　　号
令和　　年　　月　　日

通知者官職

設計者氏名

建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律第 12 条第２項（同法第 14 条第２項において読み替えて適用する場合を含む。）の規定により建築物エネルギー消費性能確保計画を通知します。

（本欄には記入しないでください。）

受付欄	適合判定通知書番号欄	決裁欄
年　月　日	年　月　日	
第　　号	第　　号	
係員氏名	係員氏名	

（注意）
1．第二面から第七面までとして別記様式第一の第二面から第七面までに記載すべき事項を記載した書類を添えてください。
2．別記様式第一の（注意）に準じて記入してください。